

令和6年度 第3回 学校運営協議会議事録

校名	府立吹田高等学校
校長名	大川 賢司
開催日時	令和7年2月7日（金）14：30～16：30
開催場所	府立吹田高等学校 本館2階 会議室
出席者（委員）	岡崎守夫会長、樋口由美子委員、酒井睦美委員、長尾ゆかり委員
出席者（学校）	大川賢司校長、浅尾義和教頭、島田敬三事務長、加藤靖史首席、小澤靖典首席、坂奈々恵教諭
傍聴者	0名
協議資料	・令和6年度 学校経営計画及び学校評価【資料1】 ・令和6年度 学校教育自己診断結果（生徒）【資料2】 ・令和7年度 学校経営計画及び学校評価【資料3】 ・大阪府立吹田高等学校 学校運営協議会 実施要項の改正について【資料4】
備考	

議題等（次第順）
・令和6年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和6年度 学校教育自己診断結果（生徒） ・令和7年度 学校経営計画及び学校評価 ・大阪府立吹田高等学校 学校運営協議会 実施要項の改正について
協議内容・承認事項等（意見の概要）
①令和6年度「学校経営計画」について、達成状況及び自己評価 首席の二名から、学校教育自己診断の結果【資料1】についての報告 ・遅刻数2％減は達成できなさそう。昔よりも増えている。吹田高校の生徒にあった形での遅刻指導。 ・イ。保護者の理解を得るのは難しい ・ウ。一般の方よりは交通ルールに意識を高めている ・オ。情報モラルを身に付けられるようしている ・就職は2次までいったのが十数名、3次までいった生徒もいるが希望者は就職率100％を維持。 ・条件の良い企業も多い。 ・一般入試を十数名受けている。頑張っている。 ・講習・補習を実施しているが、行われている、行われていないがある ・相談を受け付けるために寄り添う姿勢で、相談しやすい環境を整える必要がある 意見・質疑応答 問：2－（1）1人1台端末になって年数が浅いが、どうやってここまで使用率を伸ばしたのか？ 答：一年では情報の授業を行うから数値が高い。家庭での学習をスタディサプリなどで行っているので、推進していったらまた数値も上がってくるのではないかな。 問：3－（1）生徒との距離感が近く、相談しやすいような感じに見えたが、数値は低めに出ている。質問の聞き方の問題なのではないか？（生徒指導室と保健室に限定してしまっている）。文言を工夫してもいいのではないかな。（意見） 答：生徒【資料2】では78％と高く出ている。保護者と生徒の認識が少し違うという感想を持っている。 問：端末の導入について。出身中学校によって差はあるのか？ 答：入学時にアンケートを行っている。中学校でどのような端末を使っていたのか？過去にクロームブックを使っていた生徒が特別うまく使いこなせているかと言ったらそうではない。 問：吹田2中はサーフェイスなので、サーフェイスに慣れている生徒がクロームブックになったときにどうか気になった。

意見：生徒一人ひとりに得意な授業・不得手な授業がある。中学三年のとき、親が体調を崩したときに「お母さんが喜ぶのは、僕が勉強したときかな」となり、高校に入学するときに急に成績が上がった。少し上を目標にして高校に合格したことが本人の自信になったのか。

⇒何がその生徒にとってきっかけになるかどうかはわからない。

高校の担任の英語の先生が「一つのことの特化すれば良い」という話をしてくださった。それから猛烈に英語を勉強し始めた。最終的には他の教科も成績が伸びていった。

「一つのことの特化する」ということがとても大事。好きな授業ならば頑張ると思う。すべての教科を好きなだけでなく、何か好きなことを見つけられるような先生たちの取り組みもいいなと思った。

意見：私の息子も吹田高校の３年生。吹田高校に行けるかもわからなかったが、今や生徒会長もしている。

「得意・不得意」は誰にでもあるが、息子は料理が好きだから料理の専門学校に行くことになった。海外から来る方もいるから英語力が必要だということもわかってきた。最近では英語に興味を持って、学んでいる。クロームブックを使うことによって何回も見直せるから勉強しやすくなっている。家にパソコンがなかったから、クロームブックがあることでとてもありがたかった。公立高校は予算の面で厳しいとは思いますが、学校から相談してもらったら鳳志会やPTAで支援する。この学校いいよとおすすめできるような学校でいてほしい。

意見：数字が目標に届いていないところもいくつかあるが、目標とポイントが明確だと思うので、引き続き改善していったほしい。

②令和７年度の「学校経営計画」について、目標設定を発表し、委員の皆様のご意見をいただく

校長説明：「学校経営計画」は校長が作成し、運営委員会で審議。３月の職員会議でも全職員に伝える。教育庁の修正も入れながら３月に完成し、次の学校運営委員会では完成版を。「めざす学校像」を全面的に変更した。遅刻に関しての文言を変えた。⇒パーセントではなく、まずは前年度よりも減らすこととした。早朝の挨拶習慣を年三回実施する。遅刻したら罰、というより、遅刻しない力を高校のうちに付けることを目標として指導する。

- ・ １－（２）ブログの更新に力をいれる。
- ・ １－（３）就職に強い吹田高校。離職率を追いかけたいという気持ちがあるが、その前段階として、学校幹旋の見直しを図りたいと思っている。就職希望の生徒の指導に学校全体としてあたっていきたい。
- ・ ２－（１）授業力向上の意識を全教職員に。教職員発信で授業力向上の取り組みをしてほしい。年三回を目標に。
- ・ ３－（１）学校保健。健康診断の結果から保健（特に歯科）の事前事後指導を充実。
- ・ ４－（１）教員研修。来年度は弁護士の方をお呼びして「法律的な観点からのいじめ対応」について。メンターチームによる校内研修を年三回実施。
- ・ ４－（３）広報に力を入れたい。ホームページを全面改訂したい。今の様子を１０年以上使っている。写真をふんだんに使った、爽やかで印象のいいホームページに。できれば来年度の一学期に。中３生が見たときに、印象をよくできるようなホームページを。

意見・質疑応答

- ・ 鳳志会としてもホームページ作っている。できるだけ写真をたくさん入れて、鳳志会プレスもホームページで見れるようにしていきたい。若い人にもたくさん参加してほしい。今になっても高校の部活のメンバーとの友情が続いている。部活はいいものと若い人にも伝えたい。ホームページの改定には賛成。
- ・ ホームページはとても大事。パソコン版とスマホ版。吹田の進路協議会は全力で吹田高校を守る。南の方の公立校は同情するような結果もあったが、吹田高校には頑張ってもらいたい。ホームページから頑張っている。
- ・ 通勤するときに吹田高校の前を通るが、自転車のマナーを昔よりも守るようになっていっていると感じる。近隣の方に認められるような、卒業生の親なども巻き込んでのやり方も。娘のときは１０００字の反省文。今の子は罰がないからいいやとなりがちだが、就職したときに信頼を失うのは遅刻。保護者の方も啓発できるような何かを。

- ・めざす学校像を変えるのは勇気がいることだったと思う。「吹田高校だから行きたい」と思ってもらえるような学校を作っていくことを応援している。伝統校だから鳳志会などの同窓会も手厚い。「吹田高校だから行きたい」と思ってもらえるような学校づくりをしていきましょう。

③【資料4】について

基本はご出席いただいたうえで、オンラインでの参加も認められるようになった。という報告

その他：令和7年度の学校経営計画は今後若干の微修正が入るかもしれませんがご了承ください。

次回の会議日程	
日時	令和7年6月27日（金）
会場	府立吹田高等学校 本館2階 会議室

来年度の学校運営委員会

第2回：11月21日（金）

第3回：2月6日（金）